

バイオスタウン構想を公表した 102 市町村

《平成19年9月末現在》

広島県

庄原市
北広島町

鳥取県

大山町

福岡県

大木町
立花町

佐賀県

伊万里市

長崎県

西海市
対馬市

熊本県

南阿蘇村
水俣市

大分県

日田市

宮崎県

小林市
門川町
都農町

鹿児島県

南大隅町
いちき串木野市
志布志市
曾於市

沖縄県

伊江村
うるま市
宮古島市

石川県

七尾市
加賀市

福井県

若狭町
旧美山町(現福井市)
旧和泉村(現大野市)

滋賀県

米原市

京都府

旧夜久野町(現福知山市)
南丹市八木町地区

兵庫県

加西市
洲本市
宍粟市
豊岡市
南あわじ市

岐阜県

白川町

愛知県

豊橋市

三重県

伊賀市

岡山県

真庭市
新見市

高知県

梼原町
春野町

新潟県

旧中条町(現胎内市)
上越市
柏崎市
佐渡市

富山県

立山町
富山市

静岡県

湖西市



秋田県

小坂町
横手市

山形県

新庄市
旧立川町(現庄内町)
旧藤島町(現鶴岡市)
鮭川村
村山市
西川町

宮城県

川崎町

栃木県

茂木町
那須町

群馬県

川場村
太田市

東京都

あきる野市

神奈川県

三浦市

長野県

旧三郷村(現安曇野市)
千曲市
旧長谷村(現伊那市)

山梨県

早川町
山梨市

北海道

留萌市
旧瀬棚町(現せたな町)
旧大滝村(現伊達市)
三笠市
中札内村
旧東藻琴村(現大空町)
別海町
鹿追町
滝川市
厚沢部町
帯広市
白老町
津別町
豊頃町
東川町

青森県

旧市浦村(現五所川原市)
青森市
藤崎町
鶴田町

岩手県

紫波町
遠野市
九戸村
花巻市

福島県

富岡町
会津美里町
大玉村

千葉県

旧山武町(現山武市)
白井市
旭市
大多喜町
睦沢町

徳島県

那賀町

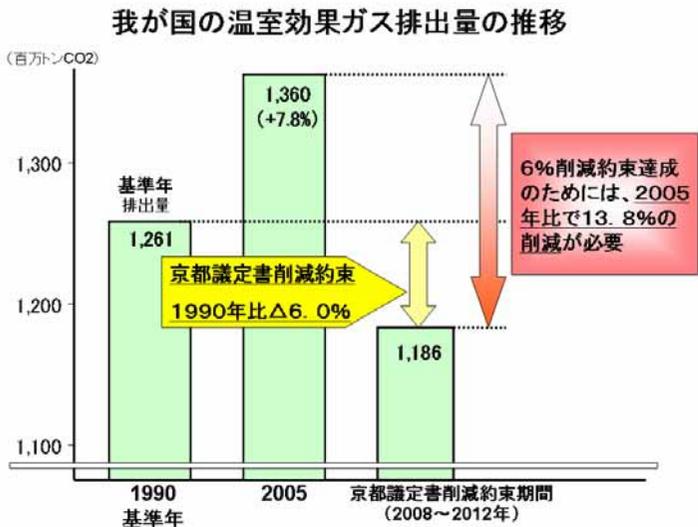
愛媛県

四国中央市
内子町

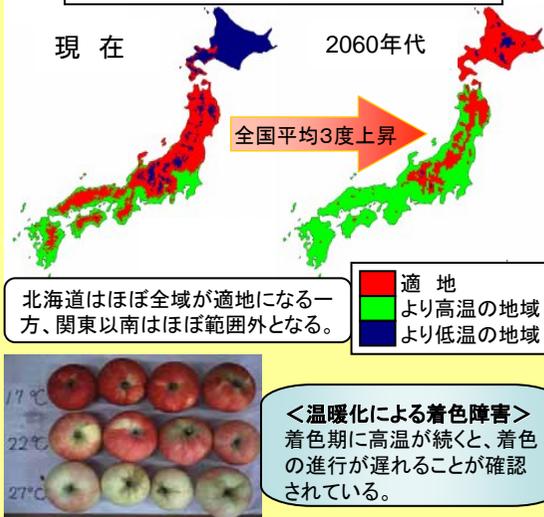
農林水産省地球温暖化対策総合戦略の推進

地球温暖化問題の現状

- 京都議定書6%削減約束の達成は難しい状況
 - ・ 2005年度は基準年比で約7.8%増加
- IPCC(気候変動に関する政府間パネル)報告書
 - ・ 地球温暖化は加速的に進行していると断定
 - ・ 農林水産業にも深刻な影響が生じると予測
- 世界全体で地球温暖化対策を推進する必要



温暖化によるリンゴの栽培適地の移動



農林水産省地球温暖化対策総合戦略の策定(平成19年6月)

I 地球温暖化防止策

- ①削減目標値の達成に向け施策を加速化
 - ・ 森林吸収源対策
 - ・ バイオマス資源の循環利用
 - ・ 食品産業等の環境自主行動計画
- ②新たな削減目標値の設定と達成に向けた施策を推進
 - ・ 施設園芸・農業機械の温室効果ガス排出削減対策
 - ・ 環境保全型農業の推進による施肥量の適正化・低減
 - ・ 漁船の省エネルギー対策
- ③その他の排出削減の取組を推進

II 地球温暖化適応策

- ①地球温暖化適応策の推進
 - ・ 既存技術の生産現場への普及・指導
 - ・ 新たな技術の導入実証
 - ・ 影響評価に基づく適応策の検討
- ②技術開発等の推進
 - ・ 生産安定技術の開発 (高温耐性品種の育成など)
 - ・ 農林水産業への影響に関する予測研究
 - ・ 影響予測に基づく適応技術の開発

III 農林水産分野の国際協力

- ①違法伐採対策等の持続可能な森林経営の推進
 - ・ 違法伐採問題の解決に向けた取組
 - ・ 途上国における持続可能な森林経営の推進に向けた支援
 - ・ 国際ルールづくりへの積極的な参加・貢献
- ②我が国の人材・技術を活用した協力

農林水産分野における対策を総合的に推進し、地球環境保全に積極的に貢献する農林水産業を実現

農林水産省生物多様性戦略のポイント

戦略の策定と位置づけ

- 農林水産業は、人間の生存に必要な食料や生活物資などを供給する必要不可欠な活動であるとともに、多くの生きものにとって、貴重な生息生育環境の提供、特有の生態系の形成・維持など生物多様性に貢献。
- しかし、不適切な農薬・肥料の使用、経済性や効率性を優先した農地・水路の整備、埋め立て等による藻場・干潟の減少など一部の農林水産業の活動などが生物多様性に負の影響。
- また、担い手の減少などによる農林水産業の活動の停滞に伴い身近に見られた種の減少や鳥獣被害が深刻化。
- これらの負の影響を見直し、生物多様性の保全を重視した農林水産業を強力に推進するための指針として位置づけるべく戦略を策定。

農林水産省 生物多様性戦略

(平成19年7月策定)

これまで

①農林水産業の活動が生物多様性に与える負の影響

- 不適切な農薬・肥料の使用
- 経済性や効率性を優先した農地・水路の整備



〔三面張りの水路〕

- 埋め立て等による藻場・干潟の減少



〔沿岸の埋め立て〕

②担い手の減少による農林水産業の活動の停滞 (耕作放棄地の増加等)に伴う生物多様性に与える負の影響

- 種の減少
- 鳥獣被害の深刻化



〔田んぼに集う生きもの〕

農林水産省生物多様性戦略
に基づく施策の推進

平成20年度
予算に反映

これから

○田園地域・里地里山の保全



- ・有機農業をはじめとする環境保全型農業の推進
(冬期湛水による生物多様性保全) 等



- ・生物多様性に配慮した生産基盤整備
(環境との調和に配慮した水路) 等



- ・野生鳥獣被害対策(鳥獣の隠れ場所となる農地に接する藪などを刈り払い) 等

○森林の保全



- ・間伐等適切な森林の整備・保全
- ・優れた自然環境を有する森林の保全・管理 等

○里海・海洋の保全



- ・藻場・干潟の保全
- ・生物多様性に配慮した海洋生物資源の
保存・管理 等

○森・川・海を通じた生物多様性保全の推進

○遺伝資源の保全と持続可能な利用の推進

○農林水産分野における地球環境保全への貢献

○農林水産業の生物多様性指標の開発

○新しい生物多様性国家戦略への反映。

○平成22年(2010年)に我が国(愛知県名古屋市)で開催予定の第10回締約国会議において、本戦略に基づく農林水産省の取組を積極的にPR。